

## 一部の電離箱式検出器における測定値の変動について

令和7年2月6日  
佐賀県環境センター

第2四半期において、モニタリングポストに設置している電離箱式検出器（平成24年度購入）の一部で、降雨がないにもかかわらず、測定値が変動する事象が確認された件について、事象発生期間の測定値の取扱いについて報告します。

### 1 事象の概要（前々回報告済）

串局、屋形石局、波多津局、相知局の4局において、7月から周期的に測定値が低下し、断続的に直近3年の「平均値 $-3\sigma$ 」を下回る事例が発生していました（7月26日から代替測定を実施）。

令和6年4月1日から7月26日までの期間で、「平均値 $-3\sigma$ 」を下回った事例が発生した日は下表のとおりです。

局名	M-3 $\sigma$ [nGy/h]	M-3 $\sigma$ 未満を記録した日
串	56	7/3 <sup>*</sup> 、4、6、7、8、9、17、18、19、20、21
相知	63	7/3 <sup>*</sup> 、4、6、7、8、9、10、17、18、19、20、21
波多津	67	7/4 <sup>*</sup> 、6、7、8、9、17、18、19、20、21
屋形石	53	7/17 <sup>*</sup> 、20、21

M-3 $\sigma$ …平均値 $-$ 標準偏差 $\times 3$

### 2 測定値の取扱いについて

第2四半期の玄海原子力発電所周辺放射能調査結果の報告書において、可搬型モニタリングポストによる代替測定を開始した7月26日以降の上記4局の電離箱式検出器による測定値については評価から除外し（測定結果欄には「-」と記載。平常の変動範囲や調査目安の集計に含めない。）、代替測定による測定値を参考値としてお示ししていました。

前回報告において、測定値の低下現象には検出器の温度が関係していることが推測されました。7月26日以前の測定値低下事例についても、同様の原因であると考えられるため、測定値が直近3年の「平均値 $-3\sigma$ 」を初めて下回った日（※上表の各局における最初の日）から7月26日の測定値については、評価から除外し、参考値として取り扱います。